

韓国

マクロ経済動向と展望

韓国銀行（中央銀行）が、4月27日に公表した2010年第1四半期の実質GDP（速報値）によると、同期の成長率は前期比1.8%増（季節調整値）となり、前期の同0.2%を大きく上回った。需要項目別に見ると、内需の最終消費支出は前期比1.7%増で前期の同マイナス0.2%からプラスに転じた。しかしこのうち、民間消費は同0.6%増に止まっており、低調である。固定資本形成は同0.6%増で前期の同1.6%を下回った。これは主に設備投資の伸びが鈍化したことによるものである。一方、外需の財・サービスの輸出は前期比2.5%増で、前期の同マイナス1.0%からプラスに転じた。

産業生産指数（季節調整値）は、2010年1月は前月比0.0%の横ばいとなった後、2月には同5.2%増となり、3月には同1.1%増と推移している。また第1四半期の生産指数は前期比5.0%増となった。

失業率（季節調整値）は2009年12月に3.6%だったものが、2010年1月には4.8%に急上昇し、その後2月に4.4%、3月に3.7%と低下している。前号で既報のように、統計庁ではこの状況を、景気回復によってこれまで就業をあきらめていた層が求職活動を再開したためと分析していたが、足元の動きはそれを裏付けているように見受けられる。

3月の貿易収支（IMF方式）は561億ドルの黒字となった。為替レートは2009年3月には1ドル＝1,136ウォンで、比較的高水準で安定している。

物価の動向は、消費者物価上昇率が3月に前年同月比2.6%となった。また生産者物価上昇率は3月に前年同月比2.3%となった。

こうした中、韓国銀行は4月12日に2010年経済予測の改定版を発表した。これによると、2010年の成長率は5.2%で、昨年12月時点の予測値4.6%を上方修正している。需要項

目別に見ると民間消費は4.0%で、前回予測値の3.6%から上方修正となっている。また、設備投資も13.4%で、前回予測値の11.4%から上方修正となっている。さらに外需である財輸出も11.9%で、前回予測値の9.3%から上方修正となっており、これらの項目が予測を押し上げている。

一方で2010年の失業率は3.7%と予測されており、前回予測値の3.5%からは悪化することとなった。

インフラ分野での韓国企業の攻勢

昨年末、韓国電力公社、斗山重工業を中心とする韓国企業連合は、アラブ首長国連邦（UAE）アブダビ首長国で、原子力発電所の一括受注に成功した。これは李明博大統領のトップセールスを含む、官民一体の売り込み攻勢の成果と言われる。韓国は自国内の原子力発電所の運転において実績を有しており、今回の受注では、性能、信頼性などに比して、割安なコストが評価され、フランスのアレバ、日米の日立製作所・ゼネラルエレクトリック連合などのライバルに競り勝った。受注を受けた原子炉は東芝の子会社である米ウエスティングハウスの技術を使用したもので、中核部分は独自技術によるものではない点で課題は残されている。しかしこの他にも、いくつかの海外案件が具体化している。こうした中、韓国政府は「原子力発電輸出産業化戦略」を策定、原発を新たな輸出品目として育てていく姿勢を明らかにした。

この他、石油精製、天然ガスなどのプラントでも、“割安感”を売りにした韓企業の輸出は堅調であり、経済危機の中でも存在感を増している。また、高速鉄道などの分野でも、輸出を目指している。こうした戦略は社会インフラを今後の輸出の核と位置付ける最近の日本の方向性と重なる。エレクトロニクス、自動車などに続き、インフラ分野でも日韓の競争の激化が予想される。

（ERINA調査研究部研究主任 中島朋義）

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	09年4-6月	7-9月	10-12月	10年1-3月	10年1月	2月	3月
実質国内総生産 (%)	4.2	5.1	5.1	2.2	0.2	2.4	3.2	0.2	1.8	-	-	-
最終消費支出 (%)	3.9	4.8	4.7	1.6	1.3	2.7	1.3	▲ 0.2	1.7	-	-	-
固定資本形成 (%)	2.4	3.6	4.0	▲ 1.7	▲ 0.9	3.9	2.5	1.6	0.9	-	-	-
産業生産指数 (%)	6.4	8.4	6.9	3.4	▲ 0.7	11.4	7.2	1.3	5.0	0.0	3.3	1.6
失業率 (%)	3.7	3.5	3.2	3.2	-	3.9	3.7	3.5	4.3	4.8	4.4	3.7
貿易収支 (百万USドル)	32,683	27,905	28,168	5,669	56,128	17,576	14,703	15,540	7,293	1,376	1,558	4,359
輸出 (百万USドル)	284,419	325,465	371,489	422,007	363,534	90,360	94,781	103,971	101,357	30,802	33,105	37,450
輸入 (百万USドル)	261,238	309,383	356,846	435,275	323,085	73,970	84,845	92,852	98,084	31,448	31,004	35,632
為替レート (ウォン/USドル)	1,024	955	929	1,103	1,276	1,286	1,239	1,168	1,143	1,139	1,157	1,136
生産者物価 (%)	2.1	0.9	1.4	8.6	▲ 0.2	▲ 1.0	▲ 3.2	▲ 0.5	2.6	2.8	2.4	2.6
消費者物価 (%)	2.8	2.2	2.5	4.7	2.8	2.8	2.0	2.4	2.7	3.1	2.7	2.3
株価指数 (1980.1.4 : 100)	1,379	1,434	1,897	1,124	1,683	1,390	1,673	1,683	1,693	1,602	1,595	1,693

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、産業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、産業生産指数、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成は2000年基準、生産者物価、消費者物価は2005年基準

産業生産指数は鉱業、製造業、電力・ガスを含む。

貿易収支はIMF方式、輸出入は通関ベース

(出所) 韓国銀行、統計庁他